

超臨界流体部会 第6回部会(幹事会)記事録

日時：平成16年4月2日(金)

18:30~20:30

場所：ホテル南海

1. 平成15年度 主催事業報告

H15.3.23 超臨界流体部会 第4回部会 (東京弥生会館)

1. 新部会役員

2. 平成15年度活動計画

3. 平成15年度部会収支予算案

参加人数 76名

H15.8.8~8.9 超臨界流体部会第2回サマースクール (箱根湯本 嶺水苑)

「超臨界流体技術・研究の最近の動向」

8.8

・「分光法による超臨界流体の相平衡の測定」 九州大学 岩井 芳夫 氏

・「超臨界流体中の物質移動パラメータについて」 中央大学 船造 俊孝 氏

・「高分子成形加工への超臨界流体の応用に関する最近の動向」

広島大学 滝島 繁樹 氏

・「超臨界流体を用いた有害固形物処理の開発状況」 オルガノ(株) 川崎 慎一郎 氏

・懇親会

8.9

・「実用化を目指した超臨界CO₂抽出の高度利用」 東京都立大学 長浜 邦雄 氏

・「超臨界水と超臨界アルコールを利用した反応プロセスの研究動向」

静岡大学 佐古 猛 氏

・「超臨界二酸化炭素を用いた新規表面処理技術の開発」

(株)ワイピーシステム 吉田 英夫 氏

・総括討論

・部会会議

参加人数 35名

H15.9.12 秋季大会シンポジウム

・超臨界流体の環境調和溶媒としての基礎特性

(超臨界流体部会・基礎物性部会 船造、大竹)

・亜臨界・超臨界流体を用いた応用技術 (超臨界流体部会 大島、鈴木)

超臨界流体部会 第5回部会

(仙台 ホテルJALシティ)

1. 平成15年度活動計画(H16行事予定)

2. WG登録状況

3. WG文献調査報告 調査作業の実施計画等活動計画

参加人数 77名

H15.11.4~11.7 第24回 INCHEM TOKYO 2003 化学技術複合展示会

(東京ビッグサイト 有明・東京国際展示場)

特別展示「大学・公的機関研究成果展示コーナー」に参加

- 「高圧炭酸水を用いる環境調和型洗浄技術」 静岡大学 佐古 猛先生
- 「超臨界水酸化法による実験廃棄物処理プロセス」 東京大学 大島 義人先生
- 「超臨界流体を利用した化学反応の新展開」 (独)産業技術総合研究所 生島 豊氏

H16.2.20～2.21 超臨界流体部会ミニ国際シンポジウム

2.20 (日本教育会館・805号会議室)

- ・開会の挨拶 部会長・九州大学教授 荒井康彦
- ・ Study on Supercritical Fluids: Thermodynamics, Applications in Green Chemistry and Material Science The Chinese Academy of Science Buxing Han
- ・超臨界水技術によるビール製法の革新
サントリー株式会社プロセス開発部課長 中原光一
- ・ Nano Particulate Design using Supercritical Fluid
Seoul National University Youn-Woo Lee
- ・二酸化炭素を原料とした地球環境に優しいプラスチック製造
独立行政法人産業技術総合研究所超臨界流体研究センター 川波肇
- ・反応溶媒としての超臨界水とその工学的応用
東京大学環境安全研究センター教授 大島義人

2.21 (東京大学柏キャンパス)(千葉県柏市柏の葉5-1-5)環境安全研究センター柏支所
・処理施設見学会(討論を含む)

東京大学環境安全研究センター教授 大島義人

参加人数 20日51名 21日19名

超臨界インキュベーション・コンソーシアムよりの受託事項

超臨界インキュベーション・コンソーシアムから、超臨界流体研究周辺動向調査に関する調査資料(2003年度超臨界流体周辺動向調査資料およびリスト)の提供を受託した。

調査研究活動

超臨界流体研究の動向把握および今後の展開を整理するため、各ワーキンググループの幹事が中心となり、～2003年度における超臨界流体周辺動向調査を行い、資料およびリストを作成し、報告書として取りまとめた。

・共催・協賛事業

H15.5 Post Congress of MTMS'03

- プロセスの最適化と物性に関する国際フォーラム - (分離技術会)

H15.7 新段階に入った超臨界流体の最新技術

(エヌ・ティー・エス)

～グリーンケミストリーから各種産業での応用技術まで～

- H15.10 第24回熱物性シンポジウム オーガナイズドセッション：OS-1.
「超臨界流体系の熱物性」滝島繁樹先生 (日本熱物性学会)
- H15.11 第1回エンジニアのための物性講演会 (基礎物性部会)
- H16.3 第16回「化学工学物性定数の最近の動向」講演会
- 製造プロセスで問題になる物性を考える -
(分離技術会・化学工学会基礎物性部会)

2. 平成15年度会員数

会員数 301名(平成16年3月25日現在)

会員内訳	名	数	名	数
名誉会員	2名	個人会員	186名	
個人特別会員	30名	法人個人会員	11名	
賛助会員	14社 30名	法人特別会員	4社 10名	
学生会員	32名			

* 以前からのメンバーで未登録者は早めの登録をお願いします。

3. 部会プロジェクトの提案事項(案)

超臨界流体部会の活動の一環として、下記の要領にて部会プロジェクトを設置し、会の一層の活性化をめざす。

- (1) 超臨界流体部会(以下部会と略す)の部会員または部会幹事会は、部会プロジェクトを提案することができる。
- (2) プロジェクトの提案者は、プロジェクトのテーマ(課題)名とプロジェクトに携わる主要なメンバーおよび簡単な研究内容をまとめ部会幹事会に書面で提出する。
- (3) 部会は幹事会の承認をもって、部会プロジェクトと認め、部会員に周知する。当該プロジェクトは、対外的に化学工学会超臨界流体部会プロジェクトと称することができる。
- (4) プロジェクトの活動に必要な費用は、原則として提案者が準備するが、セミナーやシンポジウム等の開催などを企画した場合、提案者はその費用の一部を部会に申請することができる。
- (5) 必要に応じてプロジェクトの経過を幹事会に報告する。また、プロジェクト終了時には、その結果を幹事会に報告する。

4. 平成16年度活動計画

1. 第10回アジア太平洋化学工学会議 *
2. 第3回超臨界流体部会サマースクール
3. 超臨界流体部会ミニシンポジウム

5 . APCChEについて(2004年10月17-21日) *

The 10th APCChE Congress (第 1 0 回アジア太平洋化学工学会議)

開催日時：平成 1 6 年 1 0 月 1 7 日 (日) ~ 1 0 月 2 1 日 (木)

開催場所：北九州国際会議場

超臨界流体部会：シンポジウム 0 3 ; 超臨界流体

オーラル：1 8 日 (月) 1 3 : 3 0 ~ 1 7 : 0 0、

1 9 日 (火) 1 3 : 3 0 ~ 1 7 : 0 0

ポスター：1 8 日 (月) 1 7 : 0 0 ~ 1 8 : 3 0

2 0 日 (水) 1 7 : 0 0 ~ 1 8 : 3 0

キーノートレクチャー (3 件)

Dr. Francois CANSELL (CNRS Research Director of Institut de Chimie de la
Matiere Condensee de Bordeaux, FRANCE)

“Nano-materials using supercritical fluid”

Dr. Motonobu GOTO (Professor of Kumamoto University, JAPAN)

“Development of SCF Processes for Hazardous Solid Waste Treatment”

Dr. Ki-Pung YOO (Professor of Sogang University, Korea)

"Commercial Applications of SCF Processes with emphasis on Dry Dyeing of
Aramide Fibers".

オーラル：1 8 件

ポスター：3 6 件

学生のポスター賞

論文賞 (Best Paper 賞とか Best Presentation 賞)

参考：1 7 日 (日) 参加登録 (1 5 : 0 0 ~)

ウエルカムレセプション (1 7 : 0 0 ~ 1 9 : 0 0)

1 9 日 (火) コングレスパンケット (1 8 : 3 0 ~ 2 0 : 3 0)

2 1 日 (木) クロウジングセレモニー (1 2 : 0 0 ~ 1 2 : 3 0)

6 . 平成 1 5 年度化学工学会賞受賞者のお知らせ

表彰規程に基づき平成 1 5 年度化学工学会賞受賞者を下記のとおり決定いたしましたのでお知らせします。なお来る 4 月 3 日(土)に開催の会員大会で受賞者表彰式を行い、第 69 年会行事の一環として 4 日(日)に記念講演会が行われます。(ただし、記念講演会は研究功労賞、学会活動功労賞は除きます。)

[学会活動功労賞] 本郷 尤 日本大学生産工学部 元教授

「特別研究会の運営と部会設立への発展に対する貢献」

7 . 部会登録のお願い

化学工学会の会員で、化学工学会に部会未登録の方は、化学工学会の HP、「部会入会のページ」より部会の登録をお願い致します。

また、部会のアニュアルレポート作成資料未提出者は超臨界流体部会事務局e-mail(<http://www.scf-div@m.aist.go.jp>)、またはFAX (022-237-5215) までお問い合わせ下さい